

令和2年度(2020年度)の耐震化事業の結果について

令和元年度に実施した公共建築物の耐震化事業等の結果は次のとおりです。

1 公共建築物の耐震化事業の状況

(1) 耐震改修工事(完了)(生涯学習センター管理運営事業)

施設名	所在地	診断結果 ^{※1}			備考
			Is値 ^{※2}	C _{TU} ・S _D 値 ^{※3}	
鎌倉生涯学習センター	小町1丁目 10番5号	診断時	0.294	0.397	・鉄筋コンクリート造 ・R01-02年度 工事
		改修後	0.752	0.813	

※1 診断結果は、各階・各方向について算出した指標の最低値(建物の代表値)を掲載

※2 Is値: 鉄骨造・鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造の建築物の耐震性能を表す構造耐震指標(Seismic Index of Structure)

※3 C_{TU}・S_D値: 主に鉄筋コンクリート造の建築物に適用される、建物の頑丈さを表す指標(終局累積強度指標(C_{TU})と形状指標(S_D)の積で求められる)

2 耐震性能の指標について

(1) Is値、C_{TU}・S_D値とは

Is値は建物の耐震性能を表す構造耐震指標(Seismic Index of Structure)の略で、建物の構造部材の強度と粘りをもとに、形状や劣化を考慮して算出するもので、Is値が大きいほど、構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性が高いと判断されます。

C_{TU}・S_D値は主に鉄筋コンクリート造の建築物に適用される、建物の頑丈さを表す指標(終局累積強度指標(C_{TU})と形状指標(S_D)の積で求められる)で、C_{TU}・S_D値が大きいほど耐震性能が高いと判断されます。

国の基準では、「Isが0.6以上の場合で、かつ、C_{TU}・S_Dが0.3以上の場合」に、「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」とされています。